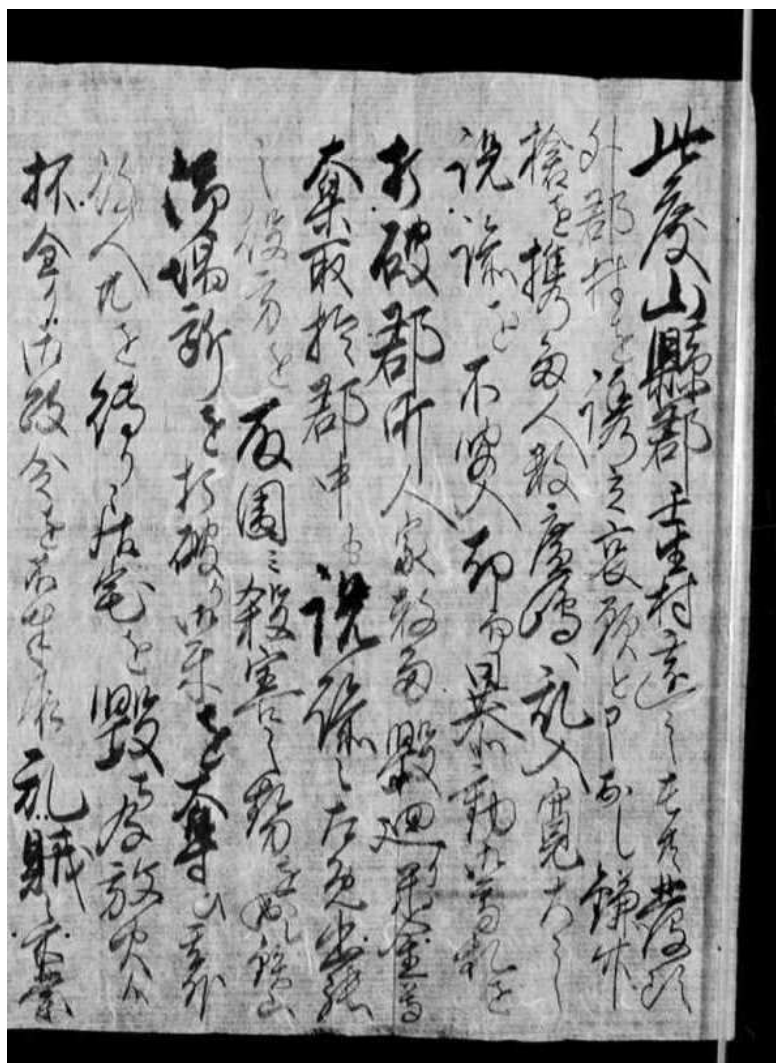


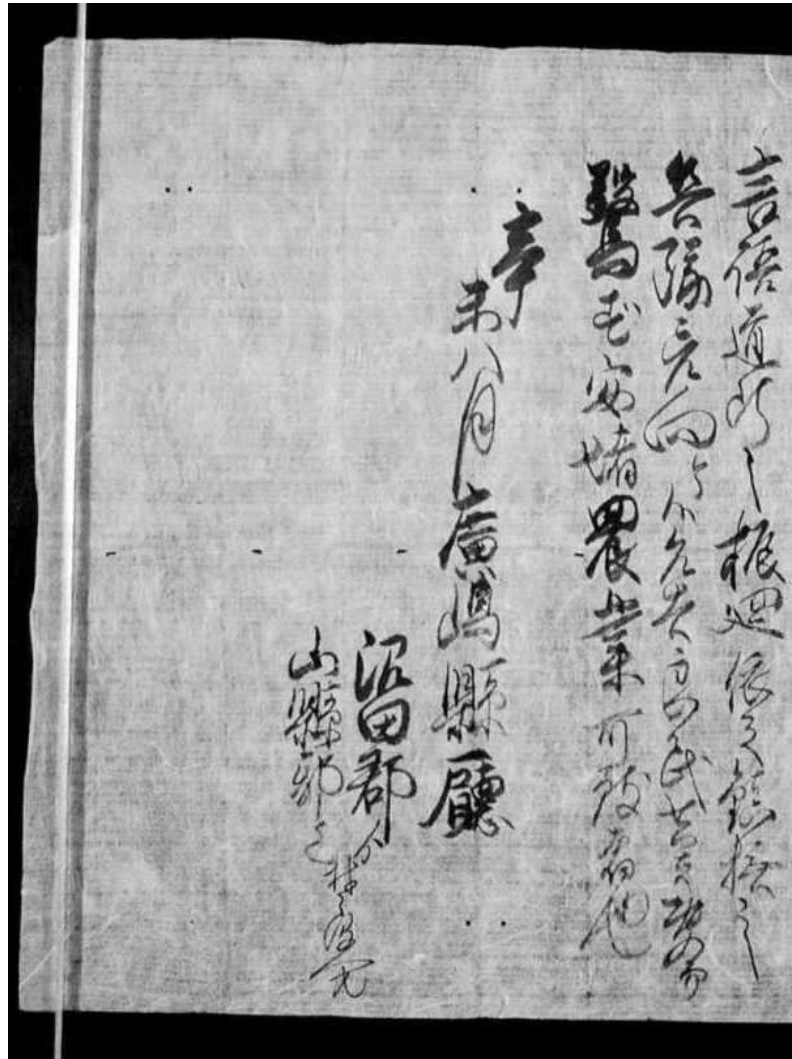
広島県庁説諭書写 (明治4年(1871)8月)

重川家文書(8826-381-2)

8月15日、広島県当局は打ち壊しや掠奪・放火の激しい山県郡に鎮圧のため兵を一大隊派遣することにした。この文書は、その際に道筋の村々に通達されたものである。宛先が「沼田郡より山県郡迄」となっているのはそのためである。



此度山縣郡壬生村邊之者共發發頭、
 外郡村を誘立、哀願と申なし、鎌・竹・
 槍を携多人數廣嶋へ乱入、寛大之
 説諭を不聞入、却而暴動、御高札を
 打破、郡町人家數多毀廻り、米金等
 奪取、於郡中一も説諭之ため出張
 之役方を取圍^(圍)ミ、殺害之勢を成シ、鉄山
 御場所を打破り、御米を奪ひ、其外
 役人共を縛り、居宅を毀ち及一放火一候
 杯、全ク御政令を不奉承、乱賊之所業



言語道断之振廻、依之鎮撫之
 兵隊差向ケ候、乍去良民共羨而
 驚ず、安堵農業可致者也
 辛
 未八月 廣嶋縣廳
 沼田郡 山縣郡迄
 村々役人共